卒業研究 (Graduation Research)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
情報電子	必修	5 年	10	研究	情報電子工学科全教員

【授業の概要】
各分野の調査・実験・研究を行い、その結果を卒業論文にすることにより、自主的研究開発能力を養成する。高専 5 年間にわたる教育の総仕上げであり、高専教育（本科）の中で最も重要な科目である。

【授業の進め方】
研究室配属は４年次後期の工学セミナー開講時に決定される。配属後、卒業研究テーマが決定され、文献調査、資料収集、研究計画作成、実験、研究、考察を行い、卒業論文としてまとめ、発表する。卒業論文は、論文集としてまとめ、発行する。

【授業計画】

４年次の工学セミナーにおける研究テーマの再確認

卒業研究中間発表会（10 月）

卒業研究論文提出（2 月）

卒業研究発表会（2 月）

＊＊　配属先　＊＊

◎　情報・通信システム
- 情報工学（池田信彦）
- 情報工学（義永常宏）
- 情報工学（奥本　幸）
- 言語情報学（高山泰博）
- 計算機工学（重村哲至）
- 応用物理（原田徳彦）
- 情報システム工学（柳澤秀明)

◎　電子・制御システム
- 画像工学（百田正広）
- 制御工学（山田健仁）
- 計算機工学（守川和夫）
- 情報工学（小林明伸）
- デジタル信号処理（杉村敦彦）
- 計算機工学（新田貴之）
- 情報工学（古賀崇了）

【到達目標】	自主的・継続的な研究を行い、途中経過を中間発表、ポスターセッションで報告すること。定められた様式で、期日までに卒業論文を提出し、卒業研究発表会で発表すること。		
【徳山高専学習・教育目標】	B2	【JABEE 基準 1(1)】	g
【評価法】	卒業研究の評価は、担当教員（７０％）、発表点（中間発表：１０％、本発表：２０％）で行われる。 担当教員は、1 年間の研究状況、卒業研究論文の内容等により評価する。 発表点は、発表会当日に公聴した教員による評価点の平均とする。		
【テキスト】	各研究室で用意される。なお、卒業論文様式は、徳山高専情報電子工学科卒業研究論文集を参考にすること。		

【成績欄】	前期中間試験	前期末試験	前期成績	後期中間試験	後期末試験	学年末成績
	【　　】	【　　】	【　　】	【　　】	【　　】	【　　】